

国連水と衛生に関する諮問委員会

(UNSGAB: United Nations Secretary-Generals' Advisory Board on Water & Sanitation)

目的 世界の水・衛生供給や水資源問題解決のための国際社会の意識高揚と行動を促す

創設 2004 年、コフィ・アナン国連事務総長（当時）の発意により創設

活動

- ・ 国連事務総長に対して水問題への政策的・技術的助言
- ・ 各国政府等が水問題の解決のために取り組むべき行動を示す「橋本行動計画」※^{1, 2}の作成
- ・ 各地域の水担当大臣との対話の実施
- ・ マスメディアを通じた世界全体の水問題への意識啓発（国際衛生年（2008 年）の提案・実施等）

※ 1：橋本行動計画 I（2006 年）・II（2009 年）の概要

以下の 6 分野で世界の水問題に対して取り組むべき行動を提示

①資金調達、②水事業体の能力開発、③衛生、④モニタリングと報告、⑤統合水資源管理、⑥水と災害

※ 2：橋本行動計画 III（2013 年 9 月）の概要

ポスト 2015 年開発アジェンダに対し提言

- ・ 水に特化した目標を確実に含めること
- ・ ターゲット：排水管理、統合的水資源管理、水関連災害を含めること

組織 閣僚経験者や国際機関の長を務めた有識者など 22 名の委員で構成。皇太子殿下が名誉総裁をお務めになっている。

初代議長：橋本龍太郎元総理

第 2 代：アレクサンダー オランダ王国皇太子殿下（現国王陛下）

第 3 代：ハッサン ヨルダン王国王子殿下

第 4 代：アイト前 UNSGAB 副議長